

## 受験校情報

### 中大

択一が 7 科目あるのが一番の特徴だと思います。中大は論文もあるので、択一を軽視しがちですが、7 科目という科目数から範囲は広く、きちんと準備をしておかないと点数が伸びないと思います。噂ですが、択一の点で足りりがあるという話もありました。僕の周りにも、択一が敗因という人が何人かいました。

論文は上三と商法です。問題は年によって結構変化しますが、現行の勉強をしておけばそのまま対応できると思います。特別な対策は必要ないと思います。

### 慶應

慶應は中大と異なり、択一は上三ですが、論文が六科目あり、しかも一科目辺り 50 分前後しかかけられないというスピード勝負の面があります。早く書くのが得意な人は問題ないでしょうが、僕は速く書けないタイプだったので苦労しました。普段の答練で時間ぎりぎりまで仕上げている人は注意が必要だと思います。

### 明治

明治は法学既習者試験が必須なので、明治を受験する人は受験しておく必要があります。択一はなく、上三と商法の論文のみでした。上三の論文はそこまで特徴的ではなく、典型的ですが、商法はかなり特徴的だと思います。僕は商法でかなり失敗をしました。過去問を見るくらいはした方がいいかもしれません。あと、去年まではネットで出題趣旨が公開されていました。参考にしてみてください。

### 京都

書類で足りりされたので参考になるような情報は書けません。ただ、足りり判定で重要なのは適正の点だという噂です。今年の京都の足りりラインは非常に高く、センターで 80 点台後半くらいと言われていました。京都は今年の段階ではセンターの適正しか使えないので、京都を目指す人はまずセンター適正で高得点を狙う必要があると思います。

### 受験校対策

人によって状況が異なるので、対策も変わってくると思います。それぞれ自分にあった対策を取ってください。これはあくまで僕の取った対策なので、皆さん各自が使えるような部分があれば参考にしてください。

僕の状況ですが、まず僕は 5 月まで現行試験を優先していたのでローに特化した勉強というのはできませんでした。それと択一、適正、英語が非常に苦手でした。適正は 1

月初めに解いてみて、40点くらいしか取れませんでした。TOIECも最初は410点でした。逆に法律の論文については他に比べれば自信がありました。ステートメントに関しては年末に下地は完成させておきました。

に関してはバランスが難しいと思います。昔は現行の対策がそのままロー対策になるといわれていましたが、僕は現行対策だけではそこまで万全ではないという印象を持ちました。特に最近はロー専願の人たちが予備校なのでしっかりとロー入試対策をしてくれるので、差をつけられてしまうかもしれません。

の適正・英語に関して僕と同じような状況の人は早めに準備した方がいいと思います。ここが原因で入試に失敗する事にもなりかねません。僕が中大に合格できたのは適正の比率がそこまで高くないことがあると思います。適正はやってもあまり変わらないと言われますが、それは多分得意の話で、苦手な人が対策をしないで受けたら大変なことになると思います。僕の場合は多摩研の適性対策講座を受講していました。これは結構お薦めです。あと、辰巳が適正オープンを学校でやってくれるのでこれを受けていました。適性についてはとにかく過去問を分析して、練習をするのが一番効率的だと思います。僕の同期は適正が得意な人が多かったので解法を聞いたりしていました。僕は時間がなかったこともあって、過去問しか出来ませんでした。何とか73点で平均以上は取れました。但し、京都を足きりされましたし、この点では上位国立は厳しいです。適正が苦手な人は何とか時間を作って適正対策をした方がいいと思います。適正試験はロー入試においてはかなり重要だと思います。

英語に関しては適正ほど重要ではないと思いますが、あれば有利です。ただ、年明けはやる事が多くて忙しいので、なるべくはやく受験して、スコアを確保しておいた方がいいと思います。

のステートメントに関しては絶対に余裕をもって完成させておいた方がいいと思います。願書を出す時にステートメントは以外に時間を取られます。そうすると直前期に勉強時間を取られることになってしまいます。僕は12月に検察官の本、新聞、済美の先生のお話を参考にしてステートメントの下地を作り、ゼミの先生・石川先生に添削をさせていただいて、3月くらいにはある程度完成させておきました。それでもローの出願の時はステートメントに少し苦労したので、やはり早めに仕上げた方がいいと思います。

全体的にはこのような感じで対策をしていました。各受験校の法律試験の対策は基本的には現行の勉強をそのまま続けました。各ローで個別にやった対策も少しあるので一応以下に書いておきます。

中大

択一・・・多肢択一式の刑法、民訴、商法はやりました。後は時間なくて出来ませんでした。

慶應

早く書く練習。問題提起、論証を削ってコンパクトな答案になるように考えました。

択一の刑法で同じく多肢択一式を使いました。

明治

出題趣旨を見る。

法学検定について

僕は法学検定の 2 級を受検して、合格していました。ロー入試の加点材料になるのかは疑問ですが、願書に書くことは出来ます。あと、法学既習者認定試験の対策にもなるので余裕があるなら受験した方がいいと思います。受験は 2 級だけで充分です。

僕の場合、適正に苦労したので適正の事を多く書きましたが、あくまで優先順位は 法律試験、 適正、 ステメン、英語だと思います。ただ、人によって力の配分が変わってきます。適正が苦手な人は得意な人より多くの力を配分するようにしてください。

ロー入試は半年にも及ぶ長丁場なので、集中力を維持するのが大変です。途中で息抜きを入れながら乗り切ってください。それと、1 つの試験で失敗しても、他で挽回できるのであきらめずにがんばってください。僕も択一に不合格となり、英語、適正も良くなかったのが心理的に相当きつかったのですが、何とか勉強を続けることで中大に引っかかることが出来ました。結果はどうなるか分からないので、最後まで諦めないでください。

他にもここでは書ききれなかった事もあるので、何か聞きたいことがあれば、遠慮なく僕に連絡してください。みなさんががんばってください。